

和束石寺実験用地について

- 登記名義:NPO流域調整室 2011年5月~
http://www.eonet.ne.jp/~river-basin/index.htm 2003年~
- 山林2筆748㎡水循環竹建材実験用地として都市計画区域外に山城水害で放棄後の元パブル分譲地を購入
- 写真は棚田に桑山子として設置されたホタマン



土壌被覆型浄化槽の改良

- ピオトープシートで24時間満水達成した浄化槽ですが、合併槽にしてBOD 20mg/l達成。現基準にあわせトレンチ幅50cmに広げ、給水井戸から30mない浸透樹を遮水シートで覆い比抵抗で確認。降雨後の樹周囲への湛水をドレーンで解消。



2006年頃から大きく傾き、昨秋より倒木増え危険度上がったが相続発生で不動産屋に売り逃げ勧められ、地主が修理しようとしないう擁壁前を通って行きます。

近隣の近所を築地から物件探しを再開してください。

JR関西本線 加茂駅 バス15分 和束岳下 徒歩15分

1 販売価格/坪 29万/92.96坪

売土地 約60坪 約1.5坪

0037-633-0966 151070

ホームズ

擁壁の転倒災害に備える対策1

- 傾いた区間の撤去更新だと税込146万かかる擁壁修理を全くしない土地所有者の許諾得て樹木伐採、ひな壇に。
- 奥に見えるのは、用地内の9m涵養井戸に注水し2.0m給水井戸の水量保持する足踏み水車小屋。



擁壁対策 2

- 転倒で通行者に被害を与えず、側溝へ沈下を許容。開口部に亀甲金網掛け、ワイヤーで木に引っ張り、地面に留め、固める。
- 傾いた部分の中段水抜きをコア抜きし、背面に延長し土止めフィルター付けて入れ直す。



擁壁対策 3

- 側溝と、その上に型枠で立ち上げた様な工事の擁壁(パイプ中段で18cm)間のコンクリートが沈下し、その上を降雨後に流水するほど沈下。
- 側溝修復、金網封入、沈下部に側溝天端までコンクリート打設工事を自分で施工中。



擁壁対策 4

- 擁壁が沈下し側溝が塞がれば、カナドレンパイプ等で排水復活し、道路の向かいに京都府管理砂防堰堤維持管理通路として盛土すれば通れる。
- 空地草刈費徴収法があれば、パブル期分譲地も持続可能な利用できるかも。



周辺地の処分

- 住宅地として分譲時に、地元時効取得地や河川護岸の中まで含めて、百坪近いと宣伝されていた。



家庭菜園としての売却を促進

- 既存の取水施設を生かしたり、排水施設を整備したりしました



1 m深地温調査で水ミチ比抵抗で非浸透を調査

- 12 - 4にも12-5,6同様、明確な水ミチなし



- マイクロハイコーダーの20V電源用いた比抵抗調査

骨組みと壁を組み合わせた家屋模型

- 水車小屋の1/20をまず作ってみました



NPO組織吸収、改組を希望

- 和束の土地安定は水抜きと樹木管理が鍵。
- 国交省OB役員辞任後組織活動や助成なし。
- 国の政策で指定管理者にされたNPOなどが吸収合併して解散側の理事に資産を会費程度でリースバックして管理してもらうことで、志ある人の意向が生きる制度を求めている。
- NPOという組織形態が無限に気前の良い無償労働者を前提としており、背後組織ないと持続しない。ゆくゆくは社団やソーシャルビジネスの会社に改組してリゾート法やねずみ講並に無理のあるNPO法を廃止すべきである。
- 設立代表者:安東尚美MXE02232@nifty.com